

## 会 議 録

会議の名称	ざま男女共同参画プラン推進協議会 第二回会議
開催日時	令和4年10月19日(月)
会議方法	ざまコミュニティプラザ2F81会議室
出席者	渡部由紀子(会長)、伊藤めぐみ、杉山朋子、小田切政子、横田要、 内藤芳子、稲垣菜穂子
事務局	(市民部広聴人権課) 中村課長、菱山係長、吉田主事
議 題	次期ざま男女共同参画プラン(素案)について
資料の名称	配付資料 1. 次期ざま男女共同参画プラン(素案)

### ◇次期ざま男女共同参画プラン(素案)について

次期ざま男女共同参画プラン(素案)を基に、ざま男女共同参画プラン推進協議会へ意見照会を行った。

以下、意見要旨(抜粋)及び市の考え

会長から各員にこれまでの男女共同参画プランの経緯を説明。

会長：初期のプランでは、細かく担当課まで決めてしまい、時代の変化にプランが対応できなかった経緯があり、第二次プランは時代の変化に対応できるように、文書等を工夫した経緯がある。

### 第一章 プランの基本的な考え方について

会長：4、施策の体系に記載の「ざまの男女共同参画社会の実現」について、前回と変えた理由を説明してください。

事務局：座間市パートナーシップ宣誓制度との兼ね合いもあり、「男女」という言葉を可能な範囲で削除しました。

内藤委員：「あらゆる分野における男女共同参画の推進」ではなく、「あらゆる分野における男女共同参画推進の意識改革」にしたほうがいいのではないかと【意識改革】として上部に書いてあるので。

事務局：検討させていただきます。

## 第二章 プランの内容について

横田委員：プランの内容については、結果のみの考察だけでなく、意識調査の結果を踏まえて、座間市の具体的な行動を記載可能なら、明記したほうがいいのではないかと。

事務局：検討させていただきます。

会長：年齢層や男女の比率を載せたほうがいいのではないかと。

事務局：今回の意識調査では、若い世代でも各質問項目に「賛成」が多い事をうけて、年齢や性別で記載するのではなく、全体の意識結果として記載したいと考えております。

横田委員：「資料：過去10年間の各審議会・協議会等の女性委員の割合」では、この数値は、議員も含んでいるのか、LGBT等の方は含んでいないか、全体的に女性ばかりの表現が多いことで、男性やLGBT等の方への配慮が足りないのではないかと。

伊藤委員：国の基準で「男女」と定められている項目があるので、記載が難しいところですが、可能な範囲で男女や性別を明記しないように事務局と調整している。

会長：「施策の具体的方向」(1)困難を抱えた女性等に対する支援では、生活困窮者全てではなく、男女共同参画の視点からの支援と言うことでしょうか。

事務局：はい。おっしゃる通りです。

会長：プランに、市民意識調査の概要を入れたほうがいいのではないかと。

事務局：記載を検討いたします。

